

平成30年度全国学力・学習状況調査【調査結果】

ー蓮田市の結果の概要についてー

蓮田市教育委員会

本調査によって測定できるのは、学力の特定の一部分・一側面であり、全ての学力を表すものではありません。

このことを踏まえ、蓮田市の結果の概要についてお伝えします。

1 実施状況

- (1) 実施期日 平成30年4月17日(火)
- (2) 対象学年 小学校第6学年 中学校第3学年
- (3) 調査内容
 - ア 教科に関する調査(国語A・B、算数・数学A・B、理科)
 - 主として「知識」に関する問題(A)
 - 主として「活用」に関する問題(B)
 - イ 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

2 学力・学習状況調査結果

(1) 教科に関する調査

全体的傾向	小学校は、国語では読むことについて、理科ではB区分の生命・地球と知識・理解について課題がある。中学校は、国語Aでは知識・理解・技能について課題があり、数学Aではすべての領域において全国平均をやや下回る問題が点在した。小学校算数と、中学校のB問題と理科はよくできる傾向にある。また、無解答率は低く、児童生徒は粘り強く取り組んでいる。
-------	---

【蓮田市と全国・埼玉県との比較の概要】

小学校6年

(平均正答率 単位%)

	国語		算数		理科
	A(知識)	B(活用)	A(知識)	B(活用)	知識・活用
蓮田市	73.0	54.0	65.0	53.0	60.0
埼玉県	71.0	54.0	62.0	50.0	59.0
全国	70.7	54.7	63.5	51.5	60.3

中学校3年

(平均正答率 単位%)

	国語		数学		理科
	A(知識)	B(活用)	A(知識)	B(活用)	知識・活用
蓮田市	76.0	65.0	67.0	50.0	69.0
埼玉県	75.0	61.0	65.0	47.0	65.0
全国	76.1	61.2	66.1	46.9	66.1

【国語A（主として知識）】

学年・問題数・傾向	○：できていた内容	●：努力を要する内容
<p>小学校6年生</p> <p>[問題数：12問]</p> <p>□全国の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率は上回っている。</p>	<p>○相手や目的に応じ、自分が伝えたいことについて、事例などを挙げながら筋道を立てて話す。</p> <p>○文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書く。</p> <p>○漢字を文の中で正しく使う。</p>	<p>●登場人物の心情について、情景描写を基に捉える。</p> <p>●日常生活で使われている慣用句の意味を理解し、使う。</p>
<p>中学校3年生</p> <p>[問題数：32問]</p> <p>□全国の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率は若干下回っている。</p>	<p>○文脈の中における語句の意味を理解する。</p> <p>○話合いの話題や方向を捉えて的確に話す。</p> <p>○語句の辞書的な意味を踏まえて文脈上の意味を捉える。</p> <p>○接続詞の働きについて理解する。</p> <p>○古典に表れたものの見方や考え方を理解する。</p>	<p>●文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える。</p> <p>●文脈に即して漢字を正しく書く。</p> <p>●語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う。</p> <p>●目的に応じて文の成分の順序や照応、構成を考えて適切な文を書く。</p> <p>●歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む。</p>

【国語B（主として活用）】

学年・問題数・傾向	○：できていた内容	●：努力を要する内容
<p>小学校6年生</p> <p>[問題数：8問]</p> <p>□全国の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率は若干下回っている。</p>	<p>○話合いの参加者として、質問の意図を捉える。</p> <p>○計画的に話し合うために、司会の役割について捉える。</p> <p>○目的や意図に応じて、文章全体の構成の効果を考える。</p>	<p>●目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書く。</p> <p>●目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読む。</p> <p>●目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらか読む。</p>
<p>中学校3年生</p> <p>[問題数：9問]</p>	<p>○話の展開に注意して聞き、必要に応じて質問する。</p> <p>○全体と部分との関係に</p>	<p>●登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てる。</p>

<input type="checkbox"/> 全国の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率は上回っている。	注意して相手の反応を踏まえながら話す。 <input type="checkbox"/> 相手に的確に伝わるように、あらすじを捉えて書く。	
--	--	--

【算数・数学A（主として知識）】

学年・問題数・傾向	○：できていた内容	●：努力を要する内容
<p>小学校6年生 [問題数：14問]</p> <input type="checkbox"/> 全国の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率は上回っている。	<p>○1に当たる大きさを求める問題場面における数量の関係を理解し、数直線上に表すことができる。</p> <p>○180°や360°を基に分度器を用いて、180°よりも大きい角の大きさを求めることができる。</p> <p>○直径の長さと同周の長さの関係について理解している。</p>	<p>●異種の2つの量のうち、一方の量がそろっているときの混み具合の比べ方を理解している。</p> <p>●示された表現方法を基に、空間の中にあるものの位置を表現することができる。</p> <p>●百分率を求めることができる。</p>
<p>中学校3年生 [問題数：36問]</p> <input type="checkbox"/> 全国の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率は上回っている。	<p>○具体的な場面で関係を表す式を、等式の性質を用いて、目的に応じて変形することができる。</p> <p>○ひし形は、線対称な図形であり、点对称な図形でもあることを理解している。</p> <p>○回転移動した図形をかくことができる。</p> <p>○半円を、その直径を軸として回転させると、球が構成されることを理解している。</p> <p>○四角錐の体積は、それと底面が合同で高さが等しい四角柱の体積の1/3であることを理解している。</p> <p>○与えられた資料から中央値を求めることができる。</p>	<p>●絶対値の意味を理解している。</p> <p>●ある基準に対して反対の方向や性質をもつ数量が正の数と負の数で表されることを理解している。</p> <p>●単項式どうしの除法の計算ができる。</p> <p>●証明の必要性と意味を理解している。</p> <p>●座標平面上に点の位置を示すことができる。</p>

【算数・数学B（主として活用）】

学年・問題数・傾向	○：できていた内容	●：努力を要する内容
<p>小学校6年生 [問題数：10問]</p> <p>□ 全国の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率は上回っている。</p>	<p>○ 合同な正三角形で敷き詰められた模様の中に、条件に合う図形を見いだすことができる。</p> <p>○ 示された考えを解釈し、条件を変更して数量の関係を考察し、分配法則の式に表現することができる。</p> <p>○ 折り紙の枚数が100枚あれば足りる理由を、示された数量を関連付け根拠を明確にして記述できる。</p>	<p>● 示された情報を解釈し、条件に合う時間を求めることができる。</p> <p>● 示された考え方を解釈し、ほかの数値の場合を表に整理し、条件に合う時間を判断することができる。</p>
<p>中学校3年生 [問題数：14問]</p> <p>□ 全国の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率は上回っている。</p>	<p>○ 与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理することができる。</p> <p>○ グラフから必要な情報を読み取り、事象を数学的に解釈することができる。</p> <p>○ 証明を振り返り、証明した事柄を基にして、新たな性質を見いだすことができる。</p>	<p>● 事柄が成り立つ理由を、構想を立てて説明することができる。</p> <p>● 3つの計算の順番を入れ替えたときの計算結果を数学的に表現することができる。</p> <p>● 与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理することができる。</p>

【理科（知識・活用）】

学年・問題数・傾向	○：できていた内容	●：努力を要する内容
<p>小学校6年生 [問題数：16問]</p> <p>□ 全国の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率は若干下回っている。</p>	<p>○ 安全に留意し、生物を愛護する態度をもって、野鳥のひなを観察できる方法を構想できる。</p> <p>○ 調べた結果について考察する際に、問題に対応した視点で分析できる。</p> <p>○ 実験結果から言えることだけに言及した内容に改善し、その内容を記</p>	<p>● 骨と骨のつなぎ目について、科学的な言葉や概念を理解している。</p> <p>● 堆積作用について、科学的な言葉や概念を理解している。</p> <p>● ろ過の適切な操作方法を身に付けている。</p>

	述できる。	
<p>中学校3年生</p> <p>[問題数：27問]</p> <p>□ 全国の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率は上回っている。</p>	<p>○ 1つの要因を変えるとその他にも変わる可能性のある要因を指摘できる。</p> <p>○ オームの法則を使って、抵抗の値を求めることができる。</p> <p>○ 探究の過程を振り返り、新たな疑問をもち問題を見だし探究を深めようとしている。</p> <p>○ アルミニウムは水の温度変化に関係していることについての新たな問題を見いだすことができる。</p> <p>○ 植物を入れた容器の中の湿度が高くなる蒸散以外の原因を指摘できる。</p>	<p>● 化学変化を表したモデルを検討して改善し、原子や分子のモデルで説明できる。</p> <p>● 神経系の働きについての知識を身に付けている。</p> <p>● 植物の葉などから水蒸気が出る働きが蒸散であるという知識を身に付けている。</p>

(2) 児童・生徒質問紙調査 (全国平均と比較して ○良好 △課題)

<p>小学校6年生</p> <p>全体的傾向</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県や国の平均値とおおむね同様で、全体的に平均値よりもよい傾向にある。 ・ 基本的な生活習慣の定着ができています。ルールや約束を守るなどの規範意識が高い。 ・ 「自分にはよいところがある」と思っていない児童の割合が県や国の平均に比べ高い。自己肯定感が低い児童の割合が多い傾向にある。 ・ 家庭での学習について、よい傾向にある。 ・ 地域や社会のことに関心があるが、地域の行事に参加したいと思っている児童の割合が低い傾向にある。 ・ 新聞を読む割合は平均と変わらないが、テレビやインターネットでニュースを見る児童の割合が高い傾向にある。 ・ 理科の授業では、理科室での実験や観察をしている割合が低い傾向にある以外は、よい傾向にある。 ・ 算数の授業では、新しい問題にチャレンジしたり、よりよい方法を見つけようとする児童の割合が高い傾向にある。
--	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今までの授業について、アクティブラーニングに関する項目がよい傾向にある。 ・ すべての調査問題について、時間が足りないという児童の割合が高い。粘り強く取り組んでいることがわかる。 <p>※今年度は国語の授業についての質問項目はなかった。</p>
<p style="text-align: center;">具体的傾向</p> <p>(質問紙の抜粋)</p> <p>全国平均と比較して</p> <p>○良好 △課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○先生は、よいところを認めてくれている。 ○学校のきまりを守っている。 ○朝食を毎日食べる。 ○毎日、同じくらいの時刻に起きたり、寝たりする。 ○将来の夢や目標を持っている。 ○家族と話をする。 ○地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある。 ○今、社会のことがらや自然のことがらに、「不思議だな」「おもしろいな」などと思っている。 △人の役に立つ人間になりたいと思っている。 △地域社会などでボランティア活動に参加したことがある。 <p>※今年度は、テレビゲーム・携帯電話・スマートフォンに関する質問項目はなかった。</p>
<p style="text-align: center;">中学校3年生</p> <p style="text-align: center;">全体的傾向</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校と同様に、県や国の平均値とおおむね同様で、全体的に平均値よりもよい傾向にある。 ・ 基本的な生活習慣の定着ができています。ルールや約束を守るなどの規範意識が高い。 ・ 家庭での学習について、よい傾向にある。特に、家庭での学習時間が長い。 ・ 授業では地域との関わりが高い傾向にあるが、地域の行事やボランティア活動については低い傾向にある。 ・ 新聞を読む割合は平均と変わらないが、テレビやインターネットでニュースを見る生徒の割合が高い傾向にある。 ・ 数学や理科の授業について、好きであるとよく分かるについての割合が低い傾向にある。 ・ 数学の授業では、解き方や考え方が分かるようにノートに書いている生徒の割合が高い傾向にある。 ・ 理科の授業では、理科室の実験や観察、考察や発表についてよい傾向にある。 ・ 今までの授業について、アクティブラーニングに関する項目がよい傾向にある。 ・ すべての調査問題について、時間が足りないという生徒の割合が高い。粘り強く取り組んでいることがわかる。 <p>※今年度は国語の授業についての質問項目はなかった。</p>

<p>具体的傾向</p> <p>全国平均と比較して</p> <p>○良好</p> <p>△課題</p>	<p>○先生は、よいところを認めてくれている。</p> <p>○学校のきまりを守っている。</p> <p>○朝食を毎日食べている。</p> <p>○毎日、同じくらいの時刻に起きたり、寝たりする。</p> <p>○家族と話をする。</p> <p>△地域の大人（学校や塾・習い事の先生は除きます。）に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがある。</p> <p>△地域社会などでボランティア活動に参加したことがある。</p>
--	---

3 今後の予定

<p>市教育委員会</p>	<p>○市全体の児童生徒の実態を国や県の実施した様々な調査のデータから分析し、種々の相関関係から導かれる教育の方向性を定める。</p> <p>○年次研修に加え、臨時的任用教員研修・授業研究会や、2～4年経験者を対象とした若手教員研修、また、職員育成講座を実施し、授業力の向上を図る。</p> <p>○特に課題の見られた点に対しては、指導主事の派遣を通して、重点的に授業改善の取組を支援していく。</p> <p>○国語の学力向上推進委員会の取組を推進する。</p> <p>○算数・数学学力向上推進委員会は、今後も継続して、学力向上について取り組んでいく。</p>
<p>各小・中学校</p>	<p>○校長のリーダーシップのもと、自校の調査結果を分析・考察し、学校の教育活動や学習指導の改善に役立てる資料として活用していく。</p> <p>○授業中における学習規律を徹底するとともに、教科会や学年会を中心に学習指導法の工夫・改善を行い、子供たちに達成感を味わわせることができるような「ねらいがわかる授業」「思考力を育成する授業」「授業で何がわかったか、自分の言葉でまとめる授業」を展開する。</p> <p>○学級指導や学級活動と連携させて、学力向上の推進を図る。</p> <p>○指導者を招いた授業研究会を積極的に行い、教師一人ひとりの指導技術の向上を図る。</p> <p>○個々の学力の伸びや、課題を重点的に分析し、個々に応じた学習指導の充実を図る。</p>

家庭・地域社会

- 家庭での学習については、協力をいただきながら、軌道に乗りつつある。しかし、家庭での過ごし方は、学力向上に大きな影響があることから、わが子の生活習慣について改めて考えるとともに、その改善方法について、家庭でよく話し合う。
- 特に、今回、質問項目にはなかったが、携帯電話やスマートフォンの使い方、テレビやテレビゲームの時間等については、家庭のルールをつくるなどして、時間の上手な使い方について家庭でよく話し合う。
- わが子の学習面でのつまずきを把握するとともに、学校からのアドバイスをもとに、解決方法を家庭でよく話し合い、質・量共に充実した家庭学習に取り組んでいく。